

解答

- 問1 (ア) No. 1 4 No. 2 4 No. 3 2
 (イ) No. 1 3 No. 2 2
 (ウ) No. 1 2 No. 2 cooking
- 問2 (ア) train (イ) another (ウ) remember
- 問3 (ア) 4 (イ) 2 (ウ) 2 (エ) 1
- 問4 (ア) 3, 1 (イ) 6, 2 (ウ) 2, 3 (エ) 4, 1
- 問5 [例] which program(one) looks (the most) interesting
- 問6 (ア) 4 (イ) 2 (ウ) 3
- 問7 (ア) 1 (イ) 3
- 問8 (ア) 1 (イ) 4 (ウ) 5

配点

- 問1 各3点×7=21点
 問2 各2点×3=6点
 問3 各3点×4=12点
 問4 各4点×4=16点
 問5 5点
 問6 各5点×3=15点
 問7 各5点×2=10点
 問8 各5点×3=15点

—採点基準— 問4 各完答。

[解説]

- 問1 (ア) No. 1 ロイとアキがラケットとボールを持って話している。「よし。テニスをしに公園へ行きましょう」
 No. 2 日本の歴史についてスピーチをしたアキに、ロイが「どこでそのアイデアを得ましたか」とたずねている。
 「私はそれ(=アイデア)を歴史の授業から得ました」 No. 3 「もし映画を見られないのなら、何をすればよいのかわかりません」→「わかりました。あなたは映画が本当に大好きなのですね」
 (イ) No. 1 ミーティングの準備をしているエレンをユウタが手伝おうとしている。ユウタがこれからすることは、部室で机を並べることと、それらをきれいにすること。 No. 2 エレンの2つ目の発言参照。日本で生まれた祖父が、よく日本の話をしていたとある。
 (ウ) No. 1 ② それぞれの上演は45分間なので、12時から12時45分まで。 ③ サキは今年、午後1時30分から「世界の歌」を歌うと言っている。 ① 今日が1月20日で、「それ(=インターナショナル・デー)の前に1週間しかありません」とあるので、開催されるのは1月27日。 No. 2 Room Bで行われるのは料理のイベント。
- 問2 (ア) 「彼ら(=男子高校生と留学生)は電車の中で英語で話していました」直前の「私もちょうどこの駅に着いたところ」より駅での会話であることがわかるので、駅に着くまでのできごとであることから推測する。(イ)「はい、でも私はもう1つ理由があると思います」中国からの留学生が多い理由を続けて述べている。(ウ)「自分の国に戻ったあとでも私はあなたと日本を覚えているでしょう」フォンの「日本は美しい国で、日本人はとても親切」「私も日本で勉強できてうれしいです」といった発言から考える。
- 問3 (ア) 「私たちが文化祭についてたずねるべき先生は田中先生です」先行詞が人(teacher)でaskの目的語となる目的格の関係代名詞はthat。(イ)「私たちがこのイベントに招待した子どもたちはまだ来ていません」yet「まだ」を用いた現在完了の否定文。主語の中心はThe childrenで複数なのでhaveを使う。(ウ)「雨が降っていましたが、私たちは買い物に行きました」接続詞thoughは「～だが…」という意味。(エ)「あなたが来ると知って彼は興奮しました」〈get+形容詞など〉で「～になる」という意味。excitedはおもに人が「興奮している」状態を表し、excitingはものなどが「興奮させるような」性質であることを表す。
- 問4 (ア) Can you tell me what time it is? 「(今)何時か私に教えてくださいか」間接疑問文。「何時」はwhat timeで始め、そのあとは〈主語+動詞〉の語順。(イ) What did he tell us to do? 「彼は私たちに何をするように言いましたか」〈tell+目的語(人)+to+動詞の原形〉で「(人)に～するように言う」。(ウ) It will be fun to visit it. 「それ(=科学博物館)を訪れることは楽しいでしょう」Itはto以下を指す。(エ) I couldn't understand anything she said. 「私は彼女が言ったことを何も理解できませんでした」not～anythingで「何も～ない」。anythingを〈主語+動詞〉で後ろから修飾する。
- 問5 指定された語と状況から「ボブ、あなたにとってどのプログラムが(最も)興味深く見えますか」が適切。
- 問6 (ア) 【全訳】参照。(イ) グラフ1のあとの本文7行目より、「最も多くの数の生徒が『選挙の日はほかにすることがあった』と答えた」ので、3は不適。グラフ1のあとの本文9行目より、「6人の生徒が『だれにも投票したく

なかった』と答えた」ので、4も不適。また、グラフ1のあとの本文17行目より、「グラフ2ではかの3つの回答をした生徒の数は合計35人だった」ので、これに該当するのは2。(ウ) a「グラフ1は、2019年の選挙で20～29歳の人の投票率が最も低かったことを示しています」 グラフ1参照。20～29歳の人の投票率は30.96%で最も低い。 f「マリは、投票率をより高くすることができるのなら、選挙に関するいくつかのおもしろいアイデアが試されるべきだと思っています」 本文最後の3行参照。

【全訳】

みなさん、こんにちは。マリです。あなたは投票権を得たら投票しますか。日本では低い投票率が大きな問題になっています。特に、多くの若者が投票していません。グラフ1を見てください。それは2019年のある選挙での投票率を示しています。

その選挙での総投票率は48.8%でした。40歳未満の若い人々の投票率は本当に低いことがわかります。

現在日本では、人々は18歳になると投票権を得ます。(ア)–B私たちの学校の一部の生徒はすでにそれを持っています。私は彼らに投票についていくつか質問しました。まず、「今までに投票したことがありますか」と彼らにたずねました。32人の生徒が「はい」と答え、70人の生徒が「いいえ」と答えました。それから、私は「いいえ」と答えた生徒にその理由について質問しました。グラフ2は彼らの回答を示しています。

グラフ2

- ・選挙当日、ほかにすることがあった。
- ・投票の仕方を知らなかった。
- ・投票することが重要だと思わなかった。
- ・だれにも投票しなかった。
- ・友人のだれも投票しなかった。

最も多くの数の生徒が「選挙の日ほかにすることがあった」と答えました。しかしながら、日本では投票日前の何日かの間に投票することができるので、私はそれは適切な理由とは思いません。6人の生徒が「だれにも投票しなかった」と答えました。私はこの意見は理解できます。ほとんどの候補者は魅力的ではありません。私は彼らが私たち、特に若い人たちのために熱心に働くとは思いません。この点で興味深い制度について聞いたことがあります。その制度では、人々は最も魅力的な候補者にプラスの票1票を与え、最も魅力的でない候補者にマイナスの票1票を与えます。たとえば、プラスの票100票とマイナスの票80票を獲得した候補者は、合計20票を獲得できます。合計でより多くの票を獲得した候補者が選挙に勝つことができます。興味深い方法ですが、だれかに悪票を投じることは私にはよいと思えないので、私はそれが気に入りません。実際、この制度は現実の世界では使用されていません。

グラフ2ではかの3つの回答をした生徒の数は合計35人でした。(ア)–Cこれらの3つの回答は1つのことから来ています。選

挙は彼らにとっておもしろくないのです。彼らは投票で国を変えることはできないと考えています。しかし、この考えは間違っています。それにはいくつかの理由があります。

まず、投票権が非常に重要であることを知っておくべきです。1票だけでは小さなものかもしれませんが、その票の合計には大きな力があります。私たちはその力で国の未来を決めることができます。私たちは歴史についてずっと勉強してきて、人々が投票権を得るために一生懸命働いたことを学びました。また、世界で多くの人々がまだ投票権を持っていないことも知っています。私たちはこの重要な権利を慎重に使用するべきです。

第二に、若者は投票によって自らの意見を示すべきです。年配の人々は若い人々よりもより多くの経験をしているので、多くのことについてよりよいアイデアを持つことができます。しかし、若い人々もいくつかの分野でよりよいアイデアを持つことができます。たとえば、私は家族の中でいちばん年下で、インターネット、コンピュータについて最もよく知っています。私はときどき、両親がインターネットを利用するのを助けます。年配の人々と若い人々の両方からの異なる意見は私たちの国をよりよくすることができます。私は投票権を得たら、投票に行くつもりです。

ところで、ほかの国々の投票率はどうでしょうか。(ア)–A投票率は海外のほとんどの国で日本より高いです。たとえば、オーストラリアでは、投票率は通常90%を超えています。それは驚くべきことです。その国では投票が義務であるため、人々は投票しないと罰金が科される可能性があります。これが高い投票率の主な理由ですが、もう1つ理由があります。オーストラリアの選挙は、お祭りや楽しいイベントのようなのです。さまざまな屋台が投票場所です食べ物や飲み物を販売しています。投票の前後に、ケーキやコーヒーを飲み食いしたり、ほかの人たちと話したりして楽しむことができます。日本でもそのような楽しい選挙があるとよいのですが。

日本の一部の地域では、投票後に買い物をする、いくつかのお店で割引を受けることができます。それが正しい方法とは思わない人もいますが、私はおもしろいと思います。そのようなさまざまなアイデアを試してみることで、投票率が上がることを私は望みます。

問7 (ア) ジョーは丘を登ると言っている。また、後半で「池のそばを通り過ぎる」とも言っている。2つのことから、ジョーが行くサイクリングコースはA。一方サクラは「池の周りを行く」と言っているので、Bコースを行くことがわかる。(イ) スケートに行くのは中学生のトモヤとジム、トモヤの兄で高校生のテツヤの3人。また、スケートをするのは土曜日の午後2時から5時までなので、滑走料金は半日料金の600円(中学生)×2(人)+800円(高校生)=2,000円。これに、トモヤとジムの2人分の半日の貸スケート靴料金350円(中学生)×2(人)=700円を加える。よって支払う料金の総額は2,000円+700円=2,700円。

【(ア)全訳】

ジョーとサクラはグリーン・サイクリング・パークでサイクリングを楽しむつもりです。そこには3つのサイクリングコースがあり、彼らはそれぞれ別のコースを行くつもりです。彼らはそれぞれ別の出発地点でスマートフォンを使い、お互いにメッセージを送り合っています。

ジョー：やあ、サクラ。ぼくはスタート地点にいて、ちょうどコースに出ようとしているところだよ。

サクラ：私もよ。こんなにいいお天気で私たちは本当に遅がたいわ。たくさん写真を撮りたいわ。

ジョー：ぼくのコースは丘を登らなければいけないから、ぼくには少しきついが、頂上からの景色はすばらしいだろ

う！

サクラ：そうね。私は池の周りを行って美しい花を見るわ。たぶんカモね。

ジョー：ぼくも池のそばを通り過ぎるよ。運がよければぼくもアヒルが見られるよ。

サクラ：いいわ。サイクリングのあと休憩所で会いましょう。

お互いに写真を見せ合えるわ。

ジョー：そうだね！ サイクリングを楽しんで！

【(イ)全訳】

トモヤとジムは同じ学校の中学生です。彼らはスケートに行く予定でミナト・スケート・センターの料金表を見えています。トモヤ：いつミナト・スケート・センターにスケートに行くこ

か。
ジム：ほくは今度の土曜日に行けるよ。
トモヤ：いいよ、でも午後に行けるかな？ それなら、ほくの兄のテツヤもいっしょに行くよ。その日、彼は高校での部活動がないんだ。
ジム：いいよ。午後の3時間で十分だと思うよ。2時から5時までかな。

問8 (ア) 【全訳】 参照。(イ) 本文42～43行目のユウトの発言「ほくたちは、最初に城へ行くべきだよ」に反対する者はないので、最初に行くのは城。続いてリンダが「歴史博物館はお城の近くよね？ 次はそこを訪れるべきよ」(46行目)と言っている。さらにコウジが「(歴史博物館で)11時40分くらいになって、昼食の時間だね」と続けているので、城→歴史博物館→昼食が決まる。昼食の場所についてはフウカが「城と歴史博物館の間には、おいしい和食の料理店がいくつかあるわよ」と提案しており(50行目)、全員が賛成している。昼食のあとは、コウジが公園に行くことを提案しており(55～56行目)、ユウト、リンダも同意している(57～58行目)。最後にコウジが提案した公園からバスに乗って美術館へ行く計画にフウカ、リンダが賛同している。これらのことから、城→歴史博物館→和食の料理店→公園→美術館の順で訪れるとわかる。(ウ) c「市立美術館では、市で生まれたり育ったりした人による多くの作品を楽しむことができます」本文24～27行目のユウトの発言参照。f「ユウトは、城の近くにある和食の料理店では、有名なめん類や魚料理を食べるために待たなければならないかもしれないと考えています」本文50～52行目のフウカとユウトの対話参照。

【全訳】

コウジ、ユウト、フウカは高校生で、リンダはオーストラリア出身の生徒です。彼らは教室で、あるプロジェクトについて話しています。

コウジ：ほくたちの全員が今ここにいるので、ほくたちのプロジェクトについて話し始めよう。ユウトとフウカは先週、市役所に行き、そこでプロジェクトについて話したね。ユウト、そのことについてほくたちに話してくれる？

ユウト：もちろん。市役所の人たちは、もっと多くの人にほくたちの市を訪れてほしいと思っていて、ほくたちに彼らを助けてほしいと頼んでいたよ。彼らはほくたちのような若者からのアイデアをほしがっているんだ。

コウジ：大変な仕事だけど、とても興味深いね。

フウカ：ええ。私にアイデアがあるわ。私たちは、市をめぐるためのモデルコースが作れると思うの。私たちの市には訪れるべき場所がたくさんあるわ。モデルコースは、それらを効率よく1日で訪れる方法を示すのよ。

ユウト：フウカ、ほくはきみに賛成だよ。

コウジ：リンダ、それについてどう思う？ ほくは留学生の意見をちょっと聞きたいな。

リンダ：フウカのアイデアはいいと思う。先月、両親が私の国からこの市に来て、私は彼らを案内したの。ア だけど、どこへ彼らを連れて行くか決めるのは、私には難しかったわ。

コウジ：なるほど。それでは、モデルコースを作ろう。ここにほくたちの市の地図がある。まず、ほくたちはいくつか訪れる場所を選ぶ必要があるね。ほくは訪れるのにいちばんいい場所は城だと思うんだ。その城のもともとの天守は500年以上前に建てられた。その天守は一度破壊されて、約30年前に再建されたんだ。建物の中に入って最上階に上ることができる。天気がよければ、そこから市全体を見ることができるんだ。その眺めはすばらしい。歴史に興味のある人々はそれを訪れるべきだし、歴史に興味のない人もその眺めを楽しめるよ。

ユウト：その通りだ。城はほくたちのコースの主要部分にすぎだね。ほくは市立美術館もいい場所だと思う。そこではたくさんの芸術作品を見ることができる。有名な芸術家による作品はそれほど多くないけど、この市で生まれたり育ったりした人々による多くの興味深い作品があるよ。

リンダ：両親と私はその両方の場所を訪れたの。両親は日本の文化に興味があるので、それらの場所を楽しんだわ。この市にはもう1つ大きな博物館があるわね？ 両親はそこも訪れたんだけど、十分な時間がなかったの。

フウカ：ええ。それはお城の近くにある歴史博物館ね。私たち

トモヤ：賛成。テツヤはスケートが上手だからほくたちに教えてくれるよ。

ジム：それはいいね！ これですべて大丈夫かな？

トモヤ：スケート靴についてはどう？ ほくたちはスケート靴を借りなければいけないよね？ テツヤは自分の靴を持っているから、それを持っていくよ。

ジム：わかった。彼に会うのが楽しみだよ。

はそこで、私たちの市の歴史、特に長い歴史のある祭りについて学ぶことができるの。次回はあなたのご両親にも訪れてほしいわ。私は、人々にみどり公園にも行ってほしいな。それは川沿いの広い公園よ。そこでは美しい花や鳥たちを見て楽しむことができるの。

リンダ：私はクラスメートとその公園に行ったことがあるわ。そこで、お店でアイスクリームを買って食べたの。とてもおいしかったわ。

コウジ：その公園は、小さな子ども連れの人々にとってすばらしい場所だよ。芝生の上で走ったり遊んだりできるんだ。でも、城と2つの博物館、公園を1日で訪れることができるかな？ 時間について考えてみよう。

ユウト：城の天守は午前9時から午後5時まで開いていて、4時30分までに入場する必要がある。博物館は両方とも午前10時から午後6時まで開館していて、5時30分までに入館する必要がある。公園は夜8時まで開いているね。ほくたちは、最初に城へ行くべきだよ。

コウジ：城を歩いて回るのには、およそ60分から90分必要だね。もしほくたちが9時にそこに着いたら、10時30分より前にそこを出ることができるよ。次はどちらの博物館へ行くべきかな？

リンダ：歴史博物館はお城の近くよね？ 次はそこを訪れるべきよ。

コウジ：そうだね。城から歴史博物館まで歩くのに約10分かかり、博物館を見て回るのに60分は必要だよ。それで11時40分くらいになって、昼食の時間だね。どこで食事をしたらいいかな？

フウカ：城と歴史博物館の間には、おいしい和食の料理店がいくつかあるわよ。そこで有名な日本のめん類や魚料理が食べられるわ。

ユウト：でも、それらの店はとても人気があるから、入店前に待つ必要があるかもしれないよ。1時より前に料理店を出ることができるとは思えないほうがいいね。

コウジ：美術館と公園はほくらの市の別々の端にあって、どちらも料理店からは遠く離れている。ほくたちは、バスに乗る必要があるよ。ほくは、昼食後は公園で休憩するのがいいと思うな。バスを待って公園まで乗ると30分かかる。

ユウト：90分間あれば、公園でたっぷり楽しめるね。

リンダ：出発する前に公園でアイスクリームを試すことを忘れないで。

コウジ：わかったよ。それから、もう一度バスに乗る必要があるね。美術館に行くには30分かかるよ。3時40分くらいに

そこに着けるね。閉館まで2時間以上あるよ。美術館を見て回ったり、その売店で何か買ったりする時間も十分にあるね。
フウカ：完璧！ モデルコースを示すためにこの地図に線を引

いて、市役所を持っていくわ。
リンダ：私、そのモデルコースが好きよ。友達が来月この市を訪れる予定なの。そのときにそれを使うわ。

英語 放送された英文▶第5回

問題(ア) No. 1

Roy : Oh, you have got a new racket, Aki. It's nice.
Aki : Thank you, Roy. This is from my father. Did you bring yours?
Roy : Yes. I have a ball, too.
Aki : (チャイム)

No. 2

Roy : You made a good English speech about Japanese history, Aki.
Aki : Thank you, Roy. I'm glad to hear that.
Roy : It was really interesting. Where did you get the idea?
Aki : (チャイム)

No. 3

Roy : Hi, Aki. I saw two movies at different theaters this weekend.
Aki : Oh, Roy. Do you often enjoy seeing movies on the weekend?
Roy : Yes, Aki. I like to go to the movies when I am free. I don't know what to do if I can't see movies.
Aki : (チャイム)

問題(イ) No. 1

Yuta : What's up, Ellen? You look busy.
Ellen : Yes. I have a meeting in our club room after school. I have to do several things for it, but I haven't finished them yet. Do you have time to help me?
Yuta : OK. I have nothing to do now. What can I do for you? Shall I clean the club room?
Ellen : Thank you, but I've already done it. Will you

set the desks there? I'll get some chairs from our classroom.

Yuta : All right. Do I need to clean the desks?

Ellen : Yes, please. Thanks, Yuta.

No. 2

Yuta : Why did you come to Japan, Ellen?

Ellen : I've been interested in Japan since I was a little child.

Yuta : Oh, really? Why?

Ellen : Actually, my grandfather often told me about Japan because he was born in Japan. He had a very good time in this country.

Yuta : I see. You've wanted to come for a long time, right?

Ellen : Yes, Yuta. I'm very glad my dream came true.

問題(ウ)

Good morning, everyone. I want to talk about the International Day. It will be held next week. We will have three performances and each will take forty-five minutes. I joined an English drama last year, but this year, I'm going to sing songs from the world. It will start at 1:30 in the afternoon. It's January 20 today and we have only a week before it. We are practicing hard now. Please come and listen to our songs. In the school building, you can see and try different cultures from other countries. We will show beautiful art from France in Room A. You can make and try traditional curry from India in Room B. In Room C, you can play Japanese *shogi* and *karuta*. I hope many of you will enjoy the events, too. Thank you.